

新型コロナウイルス感染症クラスター（25事例目）について（第3報）

三重県内で発生した25事例目のクラスターについて、1月9日時点の調査状況を報告します。

1 県内25事例目のクラスターの概要

令和3年1月、三重県立白子高等学校のクラブ活動の中で発生したクラスターで、三重県内では25事例目となります。

同じクラブ活動の生徒から陽性者が複数判明していることから、このクラブ活動を通じて感染が広がった可能性が考えられます。

2 調査状況

この事例では、同じクラブ活動の教員や生徒を検査したところ、検査対象者23名（教員1名、生徒22名）のうち、生徒8名（1360例目、1407例目、1408例目、1421例目、1422例目、1443例目、1444例目、1514例目）の陽性が確認されているため、当該クラブ活動におけるクラスターの発生となります。

現在の検査状況は下表のとおりです。

カテゴリー	検査対象者	検査済数	検査結果		未検査
			陽性数	陰性数	
教員	1	1	0	1	0
生徒	22	22	8	14	0
合計	23	23	8	15	0

※上記は人数であり、検査を行い陽性となった際は陽性数に計上しています。

【参考】クラスター対象外の接触者調査状況（現時点）

カテゴリー	検査対象者	検査済数	検査結果		未検査
			陽性数	陰性数	
家族等	24	21	3	18	3
その他	9	9	0	9	0
合計	33	30	3	27	3

3 今後について

接触者については保健所が調査を進め、随時検査を実施するとともに、健康観察を行っていきます。

※報道機関の皆様へ

本患者様およびその他ご関係者様の人権の尊重および個人情報保護、勤務先等の風評被害防止について、ご理解とご配慮をお願いいたします。